

## Build Live Japan 2018 での Aconex 利用方法について

### 1. イベントへの参加方法

各チームの代表者は、「Build Live Japan 2018 申し込みサイト」にてチーム名及びメンバーリストを事務局に提出していただきます。(各メンバーの氏名とメールアドレスが必要です)

Build Live Japan 2018 申し込みサイト (申し込みは終了しました)

<https://goo.gl/forms/bEAWc8wqzXleqmSt1>

応募要項、BLJ2018 課題は「Build Live Japan 2018 公式 Blog」をご覧ください。

<http://bljapan2018.seesaa.net>

申請後、事務局側にて Aconex 内に各チーム用のプロジェクトを作成します。

### 2. PC 環境の準備

各チームにて、Aconex を使用するための適切なブラウザと Java がインストールされている PC を準備いただきます(最新バージョンの Firefox、Chrome については Java のインストールが不要ですので最新バージョンの Firefox、Chrome の使用を推奨致します)。

利用前に必要な[システム要件](#)をご確認ください。

### 3. Aconex から関係書類をダウンロード

事務局より連絡を受けた後、Aconex から要綱、課題、BIM 計画書のテンプレート、敷地モデル(IFC)などをダウンロードしてください。

#### (1) Aconex へのログイン

[Aconex ログイン URL](#) にアクセスし、事務局より連絡されたログイン ID 及びパスワードでログインしてください。

初回ログインは、Aconex からの通知メールのリンクからログインすることも可能です。

#### (2) プロジェクト選択

ログイン後のトップページより「Build Live Japan 2018」を選択してください。(今回初めて Aconex をご利用される方は、始めから選択されています)

#### (3) 関係書類のダウンロード

プロジェクト選択後、画面上部の「文書」タブをクリックしていただき、関係書類をダウンロードしてください。

操作方法: [文書のダウンロード方法](#)

#### 4. 課題への取り組み

ダウンロードした情報を元に作業を進めてください。

#### 5. 作業データ(文書)および IFC ファイルのアップロード/ダウンロード

Aconex の活用ルールについて

- Aconex は、作業データや IFC ファイルなどの文書をチームで共有するためのコラボレーションプラットフォームです。
- イベントが開始しましたら、チームで Aconex を使ってコラボレーションを実施してください。
- Aconex に活用に係るルールは、
  - 1) 作業中の「モデル」を1日1回、管理者と共有すること、
  - 2) 提出用の各種文書・モデルを Aconex を使って管理者に提出すること
- 上記以外に、特に決まりはございませんが、Aconex 活用状況についても、審査対象となります。積極的に Aconex を活用したチームコラボレーションを実施してください

Aconex を活用する際の留意事項

- 文書や IFC ファイルをアップロードする際は、適切な「タイプ」、「ステータス」、「チーム名」を選択するようにしてください。
- 「ステータス」は、始めは「ドラフト」を指定してください。
- アップロードしたファイルが提出物の場合は、ファイル名を指定の名称とし、ステータスを「最終」として、分かるようにしたうえで、管理者に提出してください(送付状機能を使って送付)
- IFC ファイルは、「モデル」機能(次項)を用いて、モデルビューとして管理者に提出してください。

操作方法: [文書のアップロード方法](#)

操作方法: [文書の更新方法](#)

操作方法: [文書の送付方法](#)

#### 6. Aconex モデル機能を用いた BIM コラボレーション

Aconex の「モデル」機能を用いることで、BIM コラボレーションを実現するための

共通データ環境(CDE)として活用できます。  
文書箱にアップロードされた IFC ファイルを「モデル」に送ることにより、「モデル」に IFC ファイルが取り込めます。  
下記の〈操作説明〉より「モデル」の機能を確認のうえ、各チームの BIM 実行計画に基づく BIM コラボレーションを実行してください

〈操作説明〉

・[モデルの使い方\(全般\)](#)

・[モデルの追加](#)

〈注意〉モデルの追加には「ローカルファイル」から追加する方法と「文書保管箱」から追加する方法があります。ローカルファイルから追加しますと他チーム全員に共有されてしまう場合がありますので、必ず「文書保管箱」から追加する方法でモデルを追加して下さい。

・[モデルの他チームとの共有](#)

〈注意〉

配信方法は必ず「選択した受信者にモデルを送付状で送付してモデルビューを共有」を選択して下さい。

※Aconex モデル機能で実現できるコラボレーション(参考)

- ・ 個々の IFC ファイルをクラウド上で重ねて3D 表示し、組織内で共有
- ・ IFC ファイル内のオブジェクトに、他の文書を紐づけることが可能
- ・ ビューポイント情報を含めたメンバー間のコラボレーション
- ・ モデルのステータス(状況)およびバージョン管理

参考動画:[BIM Collaboration Format BCF Explanation](#)

7. Aconex メールを活用した情報共有

メンバー間で、Aconex メールを活用した情報共有、作業指示、アイデア交換を行っていただきます。

情報共有の頻度なども評価の対象となります。

操作説明:[メールの作成方法](#)

操作説明:[メールの返信方法](#)

8. 提出物のアップロード

締め切りは 12 月 7 日(金)13 時とします。

各チームは文書のステータスを「最終」に変更してください。操作方法は項番 5 を参照してください。

9. お役立ちリンク集

その他、ACONEX 操作方法の確認などは、以下のページにてご確認ください。

[サポートセントラル](#) (ACONEX 操作説明ページ)

[よくある質問](#)

10. 問合せ先

イベント期間中の操作に関する問い合わせについては、ACONEX ヘルプデスクまでお願いします。(メール:[takehito.ota@oracle.com](mailto:takehito.ota@oracle.com)、電話:03 4582 8400)

電話サポート対応は平日 10 時~17 時となります。これ以外の時間帯でのお問い合わせやヘルプデスク不在時にはメッセージの録音をお願い致します。

以 上